

denchi.ai 株式会社 電知

向山 大吉 さん

創業のきっかけは？

学生時代「他がまだやっていないことで社会の役に立ちたい」という思いで、電池診断につながる研究の道を歩み始めました。大学で14年間にわたり研究を重ね、経験と知見を生かして自らの専門分野で社会に貢献したいとの思いが創業のきっかけです。「電知」はあらゆる物理的な現象をデータとして捉え、分析し、理解することを目指し、その事業の中心となる「電」気信号と「知」能から社名を付けました。

事業内容は？

蓄電池の非破壊状態評価手法による故障・余寿命診断のAIをベースとしたクラウドサービスを行っています。現在は主に中古車に関わる販売会社、リサイクル会社にご検討いただいております。AIにより電池の適正な残存価値を見える化することでリセールバリューを適正に評価できるとお引き合いいただいております。EV用車載電池だけでなく、定置用電池などの診断も可能ですので、ご相談ください。

今後の展開・夢は？

適切に診断したEVの電池を他の用途にリユースする電池サーキュラーエコノミーの実現に向けて、電池診断は保証・保険とセットであり、保険会社との協力関係を築きたいと考えています。長年培った電池診断の知見を生かし、電池の適正な残存価値を提供することで、エネルギーの無駄をなくし、持続可能な社会に貢献することを目指しています。



向山 大吉 (むこうやま だいきち) さん (47)

1976年所沢市生まれ。早稲田大学にて電池の内部状態評価の研究を14年間重ねた後、社会実装を期して独立を決意。弟の公一さんと「株式会社 電知」を2020年に7月に設立。準備期間を経て、2021年から本格的に稼働した。

株式会社電知 でんち <https://denchi.ai>
 本庄市西富田1011 IOC本庄早稲田V101
 創業 2020年7月 TEL 050-5867-4064
 資本金 2,750万円 従業員数 3名
 事業内容 電池の劣化診断サービス



EV車載電池用診断装置 Bi-S.C002P
 可搬式で電源コードレスの診断機であるため、その場で迅速にEVの電池診断を行うことが可能



兄弟での創業 弟(右)の向山公一常務はプログラマー



「令和4年度彩の国ベンチャーマーケット」にて
 埼玉県産業振興公社理事長賞を受賞